

中高連携のとりくみ 「先輩に学ぶ会」

1. 目的

先輩や両中学校の友だちとの交流を通して、進路決定に向かう構えをつくる。

◇進路決定はゴールではなくスタートであることを理解し、生き方とかかわって考えていくことができるようにする。

◇進路決定に向けてもこれまでと同様に、「協力」と「構え」を大切に前向きに取り組んでいくことができるようにする。

2. 日時 2010年7月16日(金)

3. 場所 能勢町立西中学校体育館

4. 参加 中学校生徒：西中学校3年生 108名 東中学校3年生 28名
卒業生：10名(東中学校6名、西中学校4名)

5. 内容 **はじめに** 1. 中学校代表よりあいさつ
先輩に学ぶ会 1. 自己紹介
2. 卒業生からのお話
・高校生活について①これからの進路、将来の夢
・中学3年時を思い出して①進路決定するときに必要なこと
②効果的な学習方法
3. 中学生へのメッセージ

おわりに

1. 中学生からの質問(中学生→先輩へ、中学生→中学生へ)
2. 中学校代表よりあいさつ

西中、東中の卒業生を招き、自分の中学校時代の話や、今の高校生活や学校での勉強や行事の話など具体的に話をしてもらいました。今年、発表していただいた先輩は、中3の時にちょうど西中・東中による合同の先輩の学ぶ会が初めて実施された学年です。聞く立場から発表する立場になった先輩の話はたいへん内容が充実していました。生徒にとって将来の進路や今の自分について考え、これからの生き方を考える上でとても参考になりました。

(中学生が先輩に送る手紙を紹介)

能勢高校は行く高校の選択肢にあったので、いろいろためになる話を聞いてよかったですと思います。習熟度別に分けて勉強するのもいい方法だと思いました。



能勢高校のことを教えてくれてありがとうございました。学年が上がっていくにつれて選択授業がふえることやシートを使っての暗記をしていくという、アイデアをもらい参考になりました。

先輩の話を聞いて「いける」からいくんではなく「行きたい」という気持ちで行くことが大切だということがわかりました。